

### 三分割耐圧層を用いた深海用光海底ケーブル

1979年（昭和54）に、光ファイバを耐圧パイプ内に収容するため、三分割耐圧層を用いた深海用光海底ケーブルを試作した。深海では800気圧にも及ぶ高水圧がかかるので、ファイバを高圧から守る方式として三分割耐圧層を考案し、1,200気圧試験によっても耐圧性に問題がないことが確認された。この三分割耐圧層を用いたケーブル構造は、その後の光海底ケーブルの基本構造として採用され、TPC-3以降の光海底ケーブルに適用されている。

出典：KDD社史